

### 〈編集後記〉

月報1月号をお届けします。

今号は中国・文革研究の動向についての中国大陸在住研究者の大変貴重な論文であると、一読者として緊張しながら拝読しました。

編集後記を記す私の専門は災害社会学ですが、これまでの現地調査において、唐山地震（文革末期の1976年）における北京の住宅被害について、文革時の自宅接収の苦しい思いでとともに語ってくれた知識人層の言葉や表情を思い起こしながら、本論文を拝読しました。そして、林彪や周恩来の位置づけについて定説とは異なる解釈が存在していることに触れて新鮮な驚きを感じながら、あわせて、それらの言説が様々な立場の方々の回顧録に基づくものであって、それらを裏付ける諸資料の厳しい批判のもと、こうした研究が進められてきている当該研究の凄みを感じました。

(J)

---

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

(発行者) 町田俊彦

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---